

平成28年度

沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科

生活造形専攻工芸専修 小論文 問題

自分の制作を通して「長さ（空間、時間など）」について、  
800字から2000字以内で論述しなさい。

平成28年度  
沖縄県立芸術大学  
大学院造形芸術研究科生活造形専攻  
工芸専修 織 実技試験問題

与えられたテーマをもとに下記の条件で、壁面装飾布のデザインをなさい。

( 記 )

- 技 法 : 綴又は緋
- 寸 法 : 長さ 240 × 幅 180 cm ( 組作品可 )
- 色 彩 : 全体図のデザインが分かる様に着色  
( 縮尺 1 / 10 )
- テ ー マ : 1種類以上を使用する事
  - ・ 植物 ( 配布モチーフ )
  - ・ 海
- 答案用紙 : A2 ケント紙 1 枚
- 下書用紙 : A2 方眼紙 2 枚
- 実技解答用紙を記入する事



平成28年度 大学院造形芸術研究科  
生活造形専攻工芸専修 入学者選抜試験  
漆工研究室

【実技試験問題用紙】

試験時間 9：00～12：00

配布物

- ・ 解答用紙（黒画用紙 1枚、説明書 1枚）
- ・ 草案用紙（白1枚、黒画用紙 1枚）
- ・ 色鉛筆12色セット、白色鉛筆 1本

使用できる用具

- ・ 素描用具

注意事項

- ・ 試験開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。
- ・ 定規、コンパス等のその他用具は使用しないこと。

## 問題

- ① 黒画用紙に「植物」をテーマとして、加飾を施した作品の完成予想図を描きなさい。
- ② 説明書の項目にしたがって作品の内容を記述しなさい。

※問題に関する質問にはお答えできません。

## 注意事項

- ① 作品本体の色は黒とするが、作品と背景の境界が分かるように白色鉛筆で輪郭線を入れたり背景を着色する等、自由に表現すること。但し、背景すべてを着色する必要は無い。
- ② 加飾部分は、素材や技法が分かり易いように色鉛筆を使い表現すること。
- ③ 箱や分割できる形態の作品は、合口や分割部分が分かるように白色鉛筆の細線で表現すること。また、立体感が感じられるように白色鉛筆で補助的な線や陰影を付けても良い。
- ④ 説明書の「作品の環境」とは、使用又は設置する場所・状況・目的・他者との関わり・その他、作品を取巻く全てを意味する。
- ⑤ 黒画用紙のタテ・ヨコは自由とする。作品の上下が分かるように裏面上部中央に作品上部を示す矢印 ↑ を白色鉛筆で明記すること。

# 説明書

題名	サイズ (cm)
制作意図	
作品の環境	
素材・髹漆・加飾技法について	